

2012 年度 第 1 回水工学委員会 議事録

日時： 平成 24 年 7 月 18 日（水）10:00～13:10

場所： 土木学会 EF 会議室

出席者： 山田正（顧問）、寶馨（委員長）、道奥康治（副委員長）、篠田成郎（幹事長）、大石哲（編集幹事長）、朝位孝二、天野光歩（代理：佐藤康晴）、泉典洋、大槻英樹、川越清樹、清水康行、鈴木正人、立川康人、田中仁（代理：梅田信）、藤堂正樹（代理：松井弘）、泊宏、中嶋規行、西田修三、原田守博、松山昌史、今村正裕、岩見洋一、門田章宏、神田学、清水義彦、角哲也、関根正人、田中規夫、田中昌宏、中津川誠、二瓶泰雄、矢島啓 [敬称略]

議題：

寶委員長からの挨拶の後、引き続き以下の事項について審議が行われた。

《報告事項》

1. 水工学委員会構成

a) 委員の交代等（篠田成郎 幹事長）

- ・顧問 玉井信行氏：70 歳定年の申し合わせにより退任
- ・委員 榊山勉氏から松山昌史氏に交代
- ・委員 天野邦彦氏から岩見洋一氏に交代
- ・出席していた松山委員、岩見委員から挨拶があった

b) 水工学委員会と関連委員会等の構成（篠田成郎 幹事長）

- ・水理公式集改訂小委員会委員長、水理実験指導書編集小委員会委員長については本会議で審議する（議事録後述）
- ・「CommonMP コンソーシアム」を関連委員会として加えて欲しいとの要望が出され、関連する委員会として構成図に加えることが確認された

2. 第 48 回水工学に関する夏期研修会（2012 年、北海道大学）について（篠田成郎 幹事長・中津川誠 委員）

- ・幹事長により概要が説明された
- ・中津川委員から 1 日目 A コースの講座が 5 つになった背景など補足説明がなされた

3. 全国大会研究討論会について（篠田成郎 幹事長）

- ・概要について幹事長から説明がなされた
- ・全国大会 3 日目（9 月 7 日）13 時から行われる

4. 第 17 回水シンポジウム（岐阜）について（篠田成郎 幹事長）

- ・チラシが提示され説明がなされた。参加は事前申し込み式である

5. 各部会、小委員会の活動報告及び活動計画

a) 水文部会（神田学 部会長）

- ・活動報告（第 12 回地下環境集会、水文研究集会 2011 富山）および活動予定（第 13 回地下環境集会、水文研究集会 in 京都）について説明がなされた

b) 基礎水理部会（代理報告：篠田成郎 幹事長）

- ・活動報告（iRIC2.0 発表・説明会）がなされた

c) 環境水理部会（二瓶泰雄 部会長）

- ・土木学会重点研究課題の採択の報告
- ・2012 年度環境水理部会研究集会の報告
- ・教科書「環境水理学」作成 WG の活動報告
- ・10 月もしくは 11 月に河川部会と合同でのワークショップを開催予定

d) 河川部会（泉典洋 部会長）

- ・2012年度河川技術に関するシンポジウムを開催した。390名の参加があった
- e) 地球環境水理学小委員会（代理報告：篠田成郎 幹事長）
 - ・文科省創生プログラム，文科省 RECCA，環境省推進費の横断的な情報交換を行えるようにするため有志で活動中である
 - ・第20回地球環境シンポジウムを2012年9月13日，14日に京都大学桂キャンパスで開催予定
- f) 東南アジア河川流域研究小委員会
報告事項無し
- g) ISO/TC113 小委員会
報告事項無し
- h) 流量観測技術高度化研究小委員会（代理報告：篠田成郎 幹事長）
 - ・合同観測を魚野川，石狩川で実施した
- i) JHHE 編集小委員会（代理報告：関根正人 委員）
 - ・委員会メンバー，出版状況，査読状況の報告
 - ・新規論文受付は4月末で終了。最終号（Vol.30,No2）はJHHE全掲載論文の目録を掲載するなど通常とは異なる構成とする

6. その他

- a) 土木学会論文集第B部門合同編集小委員会の体制（関根正人 委員長）
 - ・B部門以外は和文，英文を同一の委員会で取り扱うが，B部門は英文専門の小委員会を構成している
 - ・英文論文は掲載料無料（水工学委員会の予算でまかなっている訳ではない）
 - ・推薦されて和文論文を英訳のみした場合は査読なしとし，内容がオリジナルでないことをヘッダに明記する。それ以外の英文論文は和文と同等の査読を行う。
- b) 調査研究委員会の予算配分方法の見直し（篠田成郎 幹事長）
 - ・平成24年度活動評価結果に基づく平成25年度の委員会予算配分を試行
 - ・必要な検討を行ったうえで平成26年度予算配分から本格実施を目指す
- c) 調査研究拡充支援金の算定方法の見直し（篠田成郎 幹事長）
 - ・水工学委員会から調査研究部門へ提案した意見が考慮され，インセンティブを重視した算定方法に見直された
- d) 平成24年度重点研究課題の審査・選考結果（篠田成郎 幹事長）
 - ・水工学委員会から推薦した横山勝英氏を研究代表者とする課題が採択された
- e) 超過洪水シンポジウム（5月25日）の報告（篠田成郎 幹事長）
 - ・78名の参加があり立ち見が出るほどの盛況であった
- f) 土木学会出版物の収支実績について（篠田成郎 幹事長）
 - ・水理公式集，水理実験指導書は収支が黒字
 - ・水理公式集例題プログラム集は収支が赤字
- g) 水工学関係者用メーリングリストについて（篠田成郎 幹事長）
 - ・これまでは水工学委員会のメンバーの厚意により提供されたサーバを利用していた
 - ・登録されているアドレスが古いという問題もあった
 - ・土木学会のサーバを用いたシステムに移行し，登録情報も更新する
- h) 海岸工学委員会の報告（西田修三 委員）
 - ・6月18日に開催された第1回海岸工学委員会の内容が抜粋して報告された
- i) 平成24年度調査研究費の配分額（篠田成郎 幹事長）
 - ・24年度調査研究費は23年度比3%縮減（23年度は22年度比2%縮減）
 - ・調査研究費 1,119,000円
 - ・調査研究拡充支援金 1,182,000円
- j) 水に関するオープンディスカッション会議（寶馨 委員長）
 - ・水に関する国際研究・教育プログラムへの日本からの発信
 - ・2012年10月15日（月）9:30~16:30
 - ・主催：日本学術会議 IAHS 小委員会，日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会，IHP 分科会

k) 第1回および第2回河川懇談会について（篠田成郎 幹事長）

- ・第1回は7月27日（金）13時~16時45分，経済産業省別館内共用会議室
- ・第2回は7月31日（火）13時~16時45分，経済産業省別館内共用会議室

《協議事項》

1. 平成24年度の年間スケジュールについて（篠田成郎 幹事長）

水工学委員会，同幹事会，水工学論文集編集小委員会，同幹事会の会議日程が披露，承認された

2. 第57回水工学講演会（2012年，名城大学）の開催について（原田守博 委員）

- ・スケジュール，予定会場が説明された
- ・交流会の会場は候補が2つあったが「学生食堂」にすることを決定した

3. 第58回水工学講演会の開催について（篠田成郎 幹事長）

- ・関西地区で行うことを決定した．開催地は執行部に一任する

4. 第49回水工学に関する夏期研修会（2013年，海岸工学委員会担当）について（篠田成郎 幹事長）

- ・名古屋工業大学で開催することが確認された
- ・水工学委員の担当者は富永委員に決定した

5. 次年度水シンポジウムについて（篠田成郎 幹事長）

- ・河川部会の担当で高知県にて開催することを決定した

6. 水工学論文集編集作業について（大石哲 編集幹事長）

- ・水工学委員の交替に伴い水工学論文集編集小委員も交代する．具体的には天野邦彦氏から岩見洋一氏に交代
榊山勉氏から松山昌史氏に交代
- ・第56回水工学講演会の収支が報告された
- ・第57回の予算案が承認された
- ・第57回のキーノートレクチャーは福岡捷二氏・竹内邦良氏の担当であることを決定
- ・第58回のキーノートレクチャーは現水工学委員長・幹事長の担当であることを確認

7. その他

a) 利根川出版企画について（中嶋規行 委員）

- ・書籍の内容，編集委員会の活動について紹介された
- ・7月下旬発刊予定
- ・書籍の編集者を「水工学委員会」とすることが決定された
- ・この書籍の編集委員会は水工学委員会の組織であることが確認された
- ・水工学委員会の主催でこの書籍に関するシンポジウムを行うことを決定した

b) 水理公式集改訂小委員会について（寶馨 委員長）

- ・メンバーは水工学委員執行部（委員長，副委員長，幹事長），各部会（基礎水理，環境水理，水文，河川）から各1名，海岸工学委員会委員長，同幹事長，その他（委員長が指名するもの若干名）とすることを確認した．メンバーに加わることを希望する場合は寶委員長に申し出る．メンバーは8月末には確定する
- ・出版企画書を9月28日までに提出する
- ・遅くとも「平成26年版」を発刊する
- ・小委員会による検討結果を平成25年3月の第2回委員会で報告する予定

c) 水理実験指導書編集小委員会について（寶馨 委員長）

- ・委員長は藤田一郎先生（神戸大学）に決定

- ・委員は大学関係 3 名，高専関係 3 名の計 6 名とする
- ・出版企画書を 9 月 28 日までに提出する
- d) 出版企画の募集について（篠田成郎 幹事長）
 - ・出版委員会からの募集に対して「環境水理学」，「日本のかわと河川技術を知る～利根川～」，「水理公式集」，「水理実験指導書」の 4 冊を企画している。「環境水理学」，「日本のかわと河川技術を知る～利根川～」の 2 冊は企画書を提出済み，残りの 2 冊はこれから企画書を提出する。
- e) タイ国際コンペに係る水工学委員会の対応案（寶馨 委員長）
 - ・「タイ洪水・水管理プロジェクト検討対応小委員会」を設置し活動を開始している
- f) 土木学会国際センターへの委員派遣について（篠田成郎 幹事長）
 - ・委員には自薦，他薦等をしていただくようにメール連絡済
 - ・派遣する委員の人選は執行部で行うことを決定した
- g) 土木学会誌連載企画について（篠田成郎 幹事長）
 - ・新連載企画「土木学会を知ろう～委員会活動の紹介～（仮題）」
 - ・平成 25 年 1 月号より掲載予定
 - ・水工学委員会としての 1 回目は委員長が執筆することを決定した
- h) 九州北部豪雨災害の調査について（篠田成郎 幹事長）
 - ・メールにて参加希望者および調査に関する情報提供を呼びかけ済み
 - ・7 月 17 日現在多数の情報提供あり
 - ・今後は地盤工学委員会と合同して調査を進める

○ 水工学論文賞選考委員会報告

1. 平成 24 年度水工学論文賞，同奨励賞候補論文について（篠田成郎 幹事長）
選考の経緯について説明が行われ，原案通り，候補論文を受賞論文に決定した

次回（第 2 回）委員会は，2013 年 3 月 5 日（火）（第 57 回水工学講演会初日）の 18:00～20:00 に名城大学で開催予定。

以上